

令和4年度（2022）第1回出雲市障がい者施策推進協議会会議録（要旨）

1. 開会	本協議会を公開で開催
2. 健康福祉部長 あいさつ	省略
3. 会長あいさつ	省略
4. 副会長選出	省略
5. 議 事	<p>(1) 出雲市自立支援医療費助成事業の見直しについて 【資料1】</p> <p>(2) 身体障がい者に係る社会参加促進事業の見直しについて 【資料2】</p>
事務局	(事務局説明)
会長	<p>内容については前回説明があり、今回、実施時期について説明があった。激変緩和措置ということで15年間経過し、また、自己負担等についての見直しが実施されていることと、医療費に関しては、健康保険での負担軽減もあるということで、見直しをしたいということである。</p> <p>運転免許や自動車改造についても前回議論した。特にご異議がなければ、承認とさせていただきます。</p>
	<p>(3) 次期障がい者(児)福祉計画策定のための障がい福祉サービス等の利用状況・ニーズ把握調査の実施及び調査内容の検討 【資料3】</p>
事務局	(事務局説明)
会長	<p>前回の改定前にも同様な調査を実施した。その時は移動支援の問題があり、項目を付け加えた。今回は、ささえ愛サポートと、新型コロナウイルス感染症の影響について加え、調査項目を組んであるが、これについてご意見、補強案をいただきたい。</p>
A 委員	<p>アンケート案を見て、気がついたことが2点ある。</p> <p>これはニーズ把握のための調査なので、「困っていますか」「今現状はどうですか」ではなく「どうしたいですか」という項目が欲しいと思ったところである。</p> <p>5ページの、問9と、問10、11について、「どのように過ごしたいですか」という項目を付け加えたらどうか。仕方なくこういった状況でやってるという人もおられると思うので、「本来はこうしたいのに書くところがない」ということもあると思うので、「どのように過ごしたいか」ということもアンケートで聞いて欲しい。</p> <p>もう1点、資料4ページで、該当者の方の情報をいろいろ聞いているが、医療的ケアのことを加えて欲しい。昨年、医療的ケア児支援法が、国でも決まり、医療的ケア児と、児だけではなく者も含めて、今後のことを考えてもらい</p>

	<p>たいということが法律で義務づけられたと思う。それを把握するためにも、「医療的ケアはあるか」や、「どういった内容か」という設問も入れて欲しい。それと「訪問看護を受けているか」と「在宅診療を受けているか」という項目も入れてあると、その人の状況が少しでもわかるかと思う。やはり医療的ケアがあると、利用できないサービスが多くあると思うので、そういったことを把握していただくためにも、この項目はぜひ入れていただきたいと思うがどうか。</p>
会長	<p>具体的には問7に医療的ケアを必要としているかどうかというのを加えるということになる。それから、訪問看護、訪問診療については、サービスのところで加えてはどうか。</p> <p>今のところ、この項目がないですかね。</p> <p>問13のところで、重度障がい者包括支援がある。重度訪問介護はあるが、医療看護が無いので検討して追加をお願いしたい。</p> <p>それから、休日の過ごし方については、どちらかという現状と、困っているという聞き方なので、問11を「困っているまたは、このように望んでる」という設問に変えていただいて、内容についても検討いただいたらどうか。</p>
B 委員	<p>発達の会の立ち上げについて、出雲市ではそういった動きがあるか。</p> <p>施設で働いていると利用者に就職するよう促される。とって就職しても半数が元の施設に戻ってくる状況で、あえて就職を促すことについて疑問を感じている。</p> <p>相談支援専門員が、モニタリングをし、支援計画書を作成されるが、本人が何か違うな、と感じてもなかなか言えないような場合に、市が間に入ってもらえるものか知りたい。</p>
会長	<p>今のお話は、その他のところでの議論としたいと思うが、就業については、必ずしも全員がうまくいくとは限らず、産業医の立場でも困っているところである。事務局から、コメントがあるか。</p>
事務局	<p>これまでのアンケートで地域でのいろいろな取組については、自由意見の中で記載がされていた。就労についての困難さについて記載があった。先ほどのご意見があった部分について事務局で検討し、反映できるところは反映させていきたいと考えている。</p> <p>また、先ほどA委員からご意見があった医療的ケア児については、常日頃、課題であると考えている。前回の協議会でも医療的ケア児についての意見をいただいているので、当事者の思いや支援されている方の思いが引き出せるようなアンケートを作ることができれば一番良いと考えているので、一度検討させていただき、お諮りし、アンケートを出させていただくという手順を踏みたいと考えている。</p>
会長	<p>そのほか、アンケート内容についてのご意見はあるか。</p>
A 委員	<p>資料8ページの間4の文中の「ことも」とは、「子ども」のことか。</p>
事務局	<p>「子ども」に修正します。</p>

<p>会長</p>	<p>他にあるか。          施設のアンケートで、問31について、37ページの新型コロナウイルス感染症について、訪問系と通所系の影響も若干違うのではないかと思うが、この聞き方で、ある程度の影響の有無について把握が可能か。          同じ施設で、訪問と通所と両方の事業があるところもある。実態について、サービスの利用状況で、ある程度把握はできるとは考える。アンケートには細かく条件設定ができない。          検討いただいてもいい案があれば、数日以内に事務局へ連絡をお願いします。</p>
<p>C委員</p>	<p>アンケートについては3年に1回、これまでもやってこられたことだが、先ほどから話が出ている医療ケアの法律がどう変わったか、例えば、ささえ愛サポートという新しい項目を、利用者、当事者の方々と、ご存じない方もあると思われるので、アンケートに答えやすいようにすることが大事なことはないかと思う。特に新規の設問については、答えやすくするために、例えば制度のリーフレットや、昨今、状況が変わったことなどについて、添付資料を付けて差し上げて、それを見ていただいた上で、制度を知っていただくことも大事かと思う。このようなアンケートをするときに、できる限りパンフレットリーフレット等のコピーでもつけて差し上げてアンケートをやった方がよろしいのではないかと思ったので、お願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。ただ、アンケートの分量に負担感を感じるところがあるので、ささえ愛サポートについての注釈が必要であれば、その設問のページにいれる、新しい取組についても注釈を入れてもらうと良いと思う。          アンケートについて、文字の修正や、聞き方について、ご意見があれば、1週間以内で事務局へご一報をお願いします。          事務局と私とで内容を確認し、必要があれば担当者に聞くということでアンケート内容を確定させていただいたらと思うがよろしいか。           では、ニーズ調査については、一部修正のうえ、基本、資料3のとおりで進めるということで、ご異議がなければ承認とさせていただきます。</p>
<p>6. 報告事項          会長</p>	<p>専門部会が新型コロナの影響でなかなか開けなかったが、Web会議などで再開をしていただいている。          令和4年度の事業計画について、説明をお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p><b>(1) 令和4年度各専門部会等の事業計画【資料4】</b>   <b>(部会長等説明)</b>           はい、ありがとうございました。各施設と、それから市役所の職員とで、こういった専門部会を定期的で開催していただいて、課題になってる問題について検討したり、それから、研修を取り組んでいただいているという状況である。この報告事項の今年度の計画について何かご質問はあるか。</p>

D 委員	<p>それぞれの専門部会の話の伺い、大変皆さん魅力的に取組を進められるということで、期待をしている。</p> <p>資料4 1 ページ目のつながる専門部会で確認をさせていただきたい。テーマ、それから具体的方法のところでの社会福祉協議会という名称が出てきているが、社会福祉協議会には、全市を事業対象としている出雲市社会福祉協議会と、各地区にも住民の皆さんによって設立された地区の社会福祉協議会があるが、計画案に書かれている社会福祉協議会というのは、どちらのイメージなのかということを確認したい。地区の社会福祉協議会での事例検討は、地区住民の皆さまは、福祉の専門家の方ばかりではなくハードルが高い面も案外あるかもしれない</p>
つながる部会長	<p>出雲市社会福祉協議会をイメージしている。</p> <p>働きかけを行う部署としては、権利擁護センターであったり生活困窮者の担当であったり、あと、困難事例の対応をされている部署がまた新しく立ち上がったと聞いているので、そういうところと何かしらのそういった検討会ができないか、できるかどうか、今年度働きかけてみてはどうか、何ができるかということを検討をするという段階である。</p>
会長	<p>他にはご質問いかがか。</p>
A 委員	<p>7 ページのこども専門部会の方に激励とプレッシャーを込めて意見を言わせていただきたい。現状の課題として把握されているこの3点が、子供たちを育てる上での大きな柱になってるのは間違いなく、この辺をテーマにさせていただいて、取り組んでいただくということはすごくありがたいと思う。</p> <p>「現状」の中の2番目の、「学齢期の問題に対する資源不足、情報が足りない」ということについて、親さんは全く知識がない状態で子育てをしながら学校に向かうわけで、そういったところでの情報提供は、早い時期に的確にさせていただけるとよいと思う。</p> <p>(就学の) 前年では遅いので、2年、3年ぐらい前から、情報提供していただいて、全くそういう気がないところを盛り立てていくぐらいの感じでいてもらいたいと思う。</p> <p>具体的方法として重症心身障害児者の、家族の親の会との連携と書いておられたので、親の会を、ぜひどんどん利用していただいて頑張っていたいただきたいと思う。</p>
会長	<p>ほかにはどうか。</p>
B 委員	<p>5 ページ目のじりつ専門部会のところにある、ささえ愛サポートというのを知ってる方が少ないと思うが、どのように周知していく考えか。</p>
事務局	<p>ささえ愛サポートについて、じりつ専門部会から、周知不足が課題ということをお示しいただいているが、市も、制度が令和3年度に始まり、利用者が限定的だったということと、なかなか使いにくいこと、相談支援専門員さんからの申込用紙の提出が無いということを感じている。ささえ愛サポートの運用をどのようにさせていただくのが良いのかということで3年度の協議会での話もあったが、4年度が正念場だと考えている。</p>

	<p>周知方法としては、相談支援専門員さん方に、チラシを配布させていただいた。それから、広報や、議会でご説明したが、当事者の方や支える方のところに、まだ行き届いてないと考えている。令和4年度は事務局を中心に、じりつ専門部会さん、ささえる専門部会さんばかりに負わせることなく、私たちが汗をかいていきたいと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>事前登録を基本にしているので、関係の皆さんのご理解いただきながら、事前登録と体験を、地道に増やしていくということが基本になる。立ち上げたばかりなので、少しずつ、調整しながらやっていただけたらと思う。一気に増えても、多分対応できないので、少しずつということをお願いしたい。</p>
<p>会長</p>	<p>私の方から、いくつか、お願いしたい。一つはささえる専門部会で、新型コロナウイルスの感染対策のお話が出ていたが、先週の土曜日に、島根県の看護協会で、中堅の管理者講習を行い、各病院の看護師長さんが参加された。それまで、施設を超えての交流や、施設内でも、多職種で新型コロナウイルス対応について、きちっと交流したことがなくて、グループワークを30分ほどした。</p> <p>その結果、当初、院内で少し感染が広がったケースがあったものの、かなり落ち着いて、自分たちのやってきた感染対策のスキルなりシステムが十分機能してるということがわかり結構、自信を深めておられた。</p> <p>今後のところで、少しずつ、従来の医療活動が復活した。ただ高齢者とか障がいがある方が、なかなか原施設に帰れないので、病院の方でリハビリを、協力しながらやってるといようなお話を伺った。この、新型コロナ対策のこの2年半の課題と成果といったところを、障がい者も、高齢者も同じだが、少し整理していただくと、自信が着く。新型コロナウイルスは、まだ無くなりませんので、こういう対応した方がいいというような教訓を少し整理していただくとありがたいなと思う。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>何かありますか。</p>
<p>ささえる専門部会会長</p>	<p>このコロナ対策も、6つのワーキングがあり、事業ごとに課題が違うので、このワーキングの中で情報交換したり、保健所から講師を招いてゾーニングの学習をしたり、それぞれ個別で事業所ごとにZ o o mで医師からいろいろ研修を受けたり情報交換を行うところが、今現在の状況である。今後、多分、業務継続計画といったことも義務づけられてくるので、そういったことを、またワーキングなり全体でまとめていきたいと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>いろいろ研修を受けるのも良い。自分たちがやってきたことを振り返って、この辺は結構ちゃんとできていた。この辺がちょっと穴があるとかいう整理を1回しておいていただくと、今後の、BCPなど、次の研修に繋がると思う。</p> <p>医療系は感染対策に結構、自信を深めており、新型コロナで、出産や、それから、松江医療センターなどは、やっぱり結核の方が、県内から新型コロナと差別してということで押し寄せたりがあり、大変だったようだ。だが、心臓手術なども、ほぼ、ここ数か月で復活しはじめ、その関係のところも忙しくなってくるということだ。このwithコロナで、医療や、介護、福祉サービスをどう展開するかということが課題なので、今までの整理をしておいていただくとよい。</p>

	<p>よろしく願います。</p>
会長	<p>情報提供する。先週か先々週の土曜日の日経新聞に、川崎の知的障がいの施設で、画家がサポートして描いた絵を、貸し出しや、販売をするという内容が報道されていた。そのようなアート系の事業所が増えてるということで、一般就労もだが、福祉就労の中で、そういった幅を広げるような取組が、なかなか田舎は進まないが、田舎の良さを生かしながら、いろんな形でできると良いと思っている。通信販売をしている。またご覧いただいたらと思う。川崎市のフラットっていう施設である。全国的にも結構アート系の施設があるというふうに、報道がされていたので情報提供する。他はいかがか。</p>
A 委員	<p>一つ情報提供する。山陰中央新報に、重症心身障がい児を守る会の会員さんが、隔週で水曜日にコラムを掲載しておられる。「全介助の娘 全力育児の母 結子と温子」というテーマで、隔週の水曜日で昨日も出ていた。重症児の子育てなどを、言葉にしておられるので機会があったら見ていただきたい。</p>
会長	<p>他に何か。</p> <p>資料の5から9も説明するか。</p>
事務局	<p>(2)～(6)【資料5】～【資料9】 (事務局から説明)</p>
会長	<p>資料5から9、令和3年度の状況報告について何かご質問等あるか。年度末の追加をしたということで、あまり、前回の報告と変わっていない。よろしいか。</p> <p>予定の議事と報告は以上である。</p>
事務局	<p>会長、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様からもたくさんのご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>議事(3)のアンケートに対するご意見は、6月3日(金)までに、事務局への送付をお願いします。</p> <p>令和4年度の本会は、ニーズ調査の結果をご報告するため、本日を含め3回開催の予定ですので、よろしく願います。</p>
7. 閉会	<p>以上で閉会とさせていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中、大変ありがとうございました。</p>